

事業名	さの健康 2 1プラン推進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	平成 2 6 年度	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	令和 5 年度	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「さの健康 2 1 プラン第 2 期計画」に基づき、「すべての市民の健康寿命の延伸」を目標とし、実現に向けて事業を推進する。 現プランが令和 5 年度までの 1 0 か年計画であったが、国が 1 年、県が 2 年延長し、令和 8 年度より次期プランを開始する予定。 市民にプランを周知し、健康への意識を向上させる。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R 5 年度に 行った主な活 動内容)	「さの健康 2 1 プラン」に基づき、各担当部署において各種健康づくり事業を実施した。 8 月に佐野市健康づくり推進協議会による進捗状況の検証会議を開催した。 また、プランの周知のため「 2 1 プランだより」を各庁舎やホームページにて周知した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		啓発活動(広報等)	回	3	10	4
		健康サポートさの活動回数	回	67	82	86
		事業費計	千円	201	213	4
		一般財源	千円	201	213	4
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	健康づくりに取り組んでいる市民の割合が目標値に届いていないため、今まで配布していなかった健康教室・健康相談、イベントなどで 条例・プラン、健康に関する知識を掲載した「 2 1 プランだより」を配布したい。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 6 年度から健康長寿推進事業に統合し、市民の一人ひとりが健康づくりを推進していけるよう佐野市健康長寿推進条例やプランの普及、「 2 1 プランだより」の内容を充実させることで令和 6 年度に実施する最終評価の目標値の達成を目指す。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 R 6 年度は健康長寿推進事業に統合。
---	---------------------------------

事業名	健康サポートさの活動推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	会計 科目 目	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	健康増進法	開始年度	H24	実施方法
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり	佐野市健康長寿推進条例	終了年度	事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進	さの健康 2 1 プラン			

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民の健康づくり推進のために活動する「健康サポートさの」に対して交付金を支出し、その活動を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康に対する正しい知識の普及を図り、健康意識の向上を図る。
-------------------------	-------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> ・健康サポートさのに交付金を支出する事務 ・各支部活動に対する助言指導、会員の養成講座等の支援 <団体の活動> ・7支部に分かれ、各種教室を企画し開催 ・日本食生活協会や栃木県からの委託事業を実施
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
会員数（総会時）	人	181	123	119
活動回数	回	67	82	86
活動における参加者数	人	1,062	1,293	1,882
事業費計	千円	400	600	600
一般財源	千円	400	600	600
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	新型コロナウイルス感染症の影響で減っていた活動が回復し、活動回数が増えた。健康づくりに取り組んでる市民の割合も増加傾向である。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいくらい良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

会員の高齢化が進んでおり、若者世代の会員の養成が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	市民への健康づくりの啓発や地域における健康づくりの推進のために、健康サポーター（会員）の人材育成を図っていく必要がある。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月10日

事業名	健康まつり開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		保健事業推進協力支援事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係		業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S58	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市民一人ひとりが、健康でいきいきと生活できるよう、健康に対する正しい知識の普及を図るとともに、自らの健康づくりへの意識を高め、活気あるまちづくりを目指すことを目的に開催する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。
-------------------------	-----------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	8月：開催日確定 9月～10月：各団体委託契約（足利歯科衛生士会、県栄養士会安足支部、県看護協会安足支部）、事前打ち合わせ 11月：イオンモール佐野新都市にて健康まつりを実施（健康クイズ、健康チェック、簡易HbA1c検査、健康相談、栄養相談、歯科相談、骨密度測定） 各コーナーを設け、健康づくりの意識と健康に関する知識の普及啓発を図った。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
参加者延人数	人	0	668	1,541
参加団体数	団体	0	6	9
事業費計	千円	0	108	120
一般財源	千円	0	108	120
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	参加者は増加している。まつり参加者に対し、健康に関する知識を広く啓発することができている。そして、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は順調に増えており、令和5年度は大きく目標に近づいた。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいくほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

参加者より「会場が混雑しており、なにをしているのかわからない。整理券の配布場所がわからない。」との意見があった。 今後はもっと見やすい会場の設営等を検討し、通りがかりの人でも気軽に参加できる事業を行えるよう内容を検討していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	今後も委託団体や協力企業と連携し、参加しやすいイベントを実施する。そして、健康に関する知識の普及啓発を行う。

事業名	健康増進事業等推進協力支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		開始年度	S50	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	県内の健康増進事業の実施にあたり、（一社）栃木県医師会及び（一社）栃木県歯科医師会の協力を得て一層の推進を図るため、交付金を交付する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	医師、歯科医師の協力により、疾病の予防及び重症化防止の健康教室、また健（検）診を実施することにより、疾病の予防・早期発見と早期治療を行い、市民の健康の保持増進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・市の活動 （一社）栃木県医師会、（一社）栃木県歯科医師会へ請求書に基づき、交付金を交付する。 ・（一社）栃木県医師会、（一社）栃木県歯科医師会の活動 各種委員会活動、市民フォーラム等の開催	活動指標	単位	R3	R4	R5
		健康増進事業の参加者数（人）	人	760	1,931	3,426
		事業費計	千円	573	569	569
		一般財源	千円	573	569	569
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	事業への参加者は増加しており、健康に関する知識を深めることができています。そして、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は順調に増えており、令和 5 年度は大きく目標に近づいた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

健康増進事業の推進は必要であり、効果もみられるため特に検討事項なし。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	医師、歯科医師の協力により様々な年齢層や職種の市民が参加することができた。事業の開催日時・会場の設置や関心の高いテーマの選択、また広報媒体や地区組織等の活用を検討し、引き続き健康増進事業を行っていく。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月10日

事業名	高齢者予防接種事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	平成13年	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	予防接種法施行令に基づく高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種の実施を佐野市内及び県内外医療機関で個別接種により実施する。 契約外の医療機関やでの接種や、介護施設等に入所し当該施設にて接種する場合は、申請により助成する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	インフルエンザ：満65歳以上及び60歳以上65歳未満の者で、ある一定の障害のある者 肺炎球菌：該当年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる者及び60歳以上65歳未満の者で、ある一定の障害のある者に、予防接種をしてもらい、個人の発病又は重症化を防止し、そのまん延を防止する。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	61.1	56.5	57.0	57.5	58.0
高齢者肺炎球菌予防接種接種率	%	60.7	18.5	19.0	19.5	20.0
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・高齢者インフルエンザ（実施期間：10月～2月） 個人負担金：1,000円（生活保護受給者無料） 8月～10月：医療機関等との委託契約・広報などの等に事業内容の掲載 ・高齢者肺炎球菌（実施期間：4月～3月） 個人負担金：4,000円（生活保護受給者無料） 3月～4月：医療機関等との委託契約・広報などの等に事業内容の掲載 6月：助成対象年齢の方へ受診券を発送
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
実施医療機関数	箇所	48	47	67
実施介護老人施設等数（市内）	箇所	16	18	18
事業費計	千円	82,246	82,013	81,038
一般財源	千円	82,246	82,013	81,038
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	高齢者インフルエンザ予防接種接種率は下がったが、高齢者肺炎球菌予防接種接種率と健康づくりに取り組んでいる市民の割合は増加した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	53.4	56.7	53.2	値が大きいほど良い	効果が下がった
高齢者肺炎球菌予防接種接種率	%	22.6	18.3	25.0	値が大きいほど良い	効果が上がった
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

高齢者インフルエンザ予防接種接種率が、前年度より下がってしまった。 他的高齢者任意予防接種についても助成して欲しいという意見がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
10月から高齢者インフルエンザ予防接種が始まるので、広報紙やホームページ、SNS等で周知を図っていく。 他的高齢者予防接種の助成については、他市の状況などをみながら研究していきたい。 令和6年度から、定期予防接種に統合。

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月10日

事業名	佐野食品衛生協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	S38	実施方法
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類
	施策	1	心と体の健康づくりの推進				支援事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野食品衛生協会に補助金を交付し、佐野市食品衛生協会が行う食品の衛生普及向上活動を支援する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康づくりの基礎のひとつとなる食品について、営業者として食品衛生について自覚を促すと共に食品衛生の普及啓発をする。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市食品衛生協会に補助金を交付するための事務。総会に出席。 <団体の活動> 役員会、理事会、総会、指導員養成講習会、食品衛生指導員研修会及び部会、営業施設の食品衛生巡回指導、食品衛生責任者養成講習会、食品衛生責任者再教育事業、調理師試験準備講習会、消費者懇談会等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		講習会及び研修会等延べ参加者数	人	438	854	378
		営業施設の食品衛生巡回指導延施設数	施設	1,084	1,150	1,005
		事業費計	千円	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	講習会等の参加者は減っているものの、効果指標である健康づくりに取り組んでいる市民の割合は増加している。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	0指標
	0指標
	指標全体
	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

食品の安全・衛生について講習会や研修が実施され、成果は十分に出ている。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	引き続き、当団体の活動に支援していく。

事業名	新型インフルエンザ等対策事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	昭和20年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	その他内部事務事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					
			根拠法令、条例等					
			新型インフルエンザ等対策特別措置法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	新型インフルエンザ等の発生による健康被害とそれに伴う社会的影響を想定した行動計画に基づいて、対策を整備するとともに、業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等を購入備蓄する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・業務継続を行う市職員等を感染から守る。 ・健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		防護服備蓄数	セット	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200
		防護服着脱訓練の参加者数	人	50	50	50	50	50
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえて、1月に市職員を対象に防護服着脱訓練を実施した。 また、防護服セット1,600セット購入し、備蓄した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		防護服購入数	セット	1,250	1,400	1,600
		防護服着脱訓練開催回数	回	2	2	2
		防護服着脱訓練参加者数	人	54	48	43
		事業費計	千円	3,871	4,323	3,986
		一般財源	千円	3,871	4,323	3,986
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・目標の防護服備蓄数を達成することができた。 ・防護服着脱訓練の参加者が目標を下回ってしまった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		防護服備蓄数	セット	11,056	12,362	14,150	値が大きいほど良い	効果が上がった
		防護服着脱訓練の参加者数	人	54	48	43	値が大きいほど良い	効果が下がった
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

防護服着脱訓練の参加者数が、減ってきている。 耐用年数経過により劣化した防護服を廃棄し、新たに購入する必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 防護服着脱訓練は、市職員が参加できる日程を設定する。 計画的に防護服を購入する。 令和7年度から、「新型コロナウイルス感染症等対策事業」と統合し、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染対策の周知などを行っていく。
---	---

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月10日

事業名	佐野市地域保健協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		佐野市地域保健協議会参		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係		画事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S51年度	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	－	事業分類	参画事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市の医療実態を調査し、佐野市医師会、佐野市、安足健康福祉センターの協力体制を確立して、地域保健の向上を図る佐野市地域保健協議会に対して負担金を支出し、事業を実施する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が自分の健康状態を把握し、自主的に健康づくりに取り組むようにする。
-------------------------	-------------------------------------

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	〈市の活動〉 佐野市地域保健協議会に負担金を支出。 総会、月例会議に参加し、各議題等について協議を行った。 団体の事業に協賛した。 〈団体の活動〉 産婦人科医による市内中学校等への健康教育や健康まつりでの血糖検査、健診受診率啓発や健康長寿推進条例・シニア地域デビュー条例の周知啓発チラシの作成、配布を行った。
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
月例会議開催回数	回	10	10	8
月例会議出席者	人	56	62	50
事業費計	千円	600	600	600
一般財源	千円	600	600	600
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市の健康に関する課題の一つである健診・検診の受診率が低いことに関しては、前年度と比較し、受診率増となっている。 また、効果指標である健康づくりに取り組んでいる市民の割合も増加している。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	0指標
	0指標
	指標全体
	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍で事業が縮小していた時期からの繰越金があったが、年々繰越額が減少しているため、事業内容の見直しが必要。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	健康課題、市民のニーズを把握し、十分に検討しながら事業を実施する。

事業名	栃木県公衆衛生協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		栃木県公衆衛生協会参画事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S42	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	参画事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県の公衆衛生の向上発展に寄与することを目的に公衆衛生事業に関係する団体で組織されている栃木県公衆衛生協会に会員として参画して負担金を支出している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	対象の栃木県公衆衛生協会会員である各団体が、健康及び環境問題に対する認識を深めると共に関係者の資質の向上を目指す。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 栃木県公衆衛生協会に負担金を支出するための事務。 県と安足地区保健衛生事業功労者表彰候補者の推薦。 <団体の活動> 大会、支部大会、学会、幹事会、評議員会等を実施した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議の開催回数	回	4	4	4
		栃木県公衆衛生協会会員数	団体	68	68	68
		事業費計	千円	7	7	7
		一般財源	千円	7	7	7
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	健康づくりに取り組む市民の割合は増加傾向である。
------------------	--------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公衆衛生の向上発展は必要であり、効果もみられるため特に検討事項なし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	引き続き、当団体の活動に参画していく。

事業名	栃木県市町保健師業務研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		開始年度	S59	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・栃木県市長保健師業務研究会会員負担金 ・研究会に参加し、研修・調査・研究することにより、保健師の資質の向上を図り、地域住民の健康と福祉の向上に寄与する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保健師一人一人が保健師としての役割を理解し、市民の健康づくりに役立てる。
-------------------------	--------------------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 栃木県市町村保健師業務研究会に負担金を支出、総会および研修会への参加 (研究会の活動) 総会及び研修会、役員会 役員はブロック毎に選出し、安足ブロックは2年ごとに足利市と佐野市が交互に担当する。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		本市の研修会参加者数（延べ人数）	人	12	20	10
			人			
		事業費計	千円	25	24	23
		一般財源	千円	25	24	23
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	保健師が健康に関する最新の知識を深め、その知識を市民に還元することで、健康づくりに取り組む市民を増やすことに貢献している。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	75.0	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	0指標
	0指標
	指標全体
	効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

保健師の活動事業内容が、近年、保健事業だけにとどまらず、高齢者福祉や障がい者福祉、児童福祉などの福祉分野をはじめ、各種感染症対策、震災や水害等の災害対策など、多岐にわたり様々な知識や技術等が必要となってきた。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
引き続き研修会に参加し、保健師の知識を深めて市民の健康づくりに役立てる。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月10日

事業名	乳幼児・児童生徒予防接種事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	健康増進課		乳幼児・児童生徒予防接種事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	昭和23年	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	—	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	予防接種法に基づく定期予防接種の実施 接種方法：市内医療機関での個別接種
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が、感染の恐れのある疾病に対して免疫の効果をつけるワクチンを接種し、感染症の発生及びまん延を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		1歳児（MR）の接種率	%	95	95	95	95	95
		年長児（MR）の接種率	%	95	95	95	95	95
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・標準となる接種時期に勧奨を行った。 ・予防接種の受け方を情報誌に掲載し、予診票と予防接種の冊子を乳児全戸訪問時に配布した。 ・育児相談・乳幼児健診時に接種の状況を確認・勧奨し、必要時個別通知した。 ・学校の長期休暇前・就学前健康診断時等、時期を見計らい接種勧奨を行うことで、未受診者への勧奨を行った。 ・予防接種時期が確認できるように広報やアプリで周知した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		実施医療機関数（市内）	箇所	44	40	39
		事業費計	千円	186,253	201,252	212,880
		一般財源	千円	186,253	201,252	212,880
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	MR1期の接種率は前年度より上がったが、MR2期と感染症に取り組む市民の割合が共に減少している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		1歳児（MR）の接種率	%	89.0	92.7	96.2	値が大きいほど良い	効果が上がった
		年長児（MR）の接種率	%	94.1	93.5	92.5	値が大きいほど良い	効果が下がった
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	96.3	95.8	91.4	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	2指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					○

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

年長児のMRの接種率が下がってきている。 医師会からワクチンはすべて市から供給し、委託料は技術料としたいとの要望がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 予防接種接種率向上のため、引き続きSNSなどを使い、有効な勧奨通知をしていく。
---	---

事業名	風しん予防接種等事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	平成 3 1 年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	令和 6 年	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	予防接種法施行令に基づき、風しん抗体保有率の低い世代に抗体検査及び予防接種を受けてもらい、風しんの流行を予防する。 ※期間：平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日の 6 年間
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	昭和 3 7 年 4 月 2 日～昭和 5 4 年 4 月 1 日生まれの男性の風しん抗体の保有率を上げ、風しんのまん延を防ぐ。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		抗体検査受検率	%	30.0	35.0	40.0	45.0	－
		予防接種接種率	%	90.0	90.0	90.0	90.0	－
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	－

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・委託料支払い及び受診管理(受診者入力) ・転入者・未受診者に対して受診勧奨のはがきを送付した。 ・未受診者へクーポン券を再発行した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		市内の実施医療機関数	箇所	48	47	47
		事業費計	千円	8,748	3,156	2,833
		一般財源	千円	5,674	1,940	1,799
		特定財源（国・県・他）	千円	3,074	1,216	1,034
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	抗体検査受検率、予防接種接種率、健康づくりに取り組んでいる市民の割合共に増加している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		抗体検査受検率	%	31.7	32.8	34.7	値が大きいほど良い	効果が上がった
		予防接種接種率	%	84.9	83.1	83.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	3指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度で事業終了するため、風しん抗体検査未検査者への有効な受診勧奨をする。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	令和6年度で事業終了。

事業名	保健事業推進協力支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		保健事業推進協力支援事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市医師会に交付金を交付し、佐野市で行う各種健診・健康相談・教室・予防接種に対して、各医療機関との調整や医師の割振りなどを依頼している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の健康づくりが図られる。
-------------------------	----------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
特定健診受診率	%	36.0	38.0	40.0	35.0	37.0
がん検診受診率	%	30.0	28.5	29.0	29.5	30.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 佐野市医師会に交付金を交付するための事務（申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、交付金の交付）。 <佐野市医師会の活動> 各種保健事業への協力。各種検診や各種予防接種やにおける市との協議、指導及び各医療機関との調整。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		医師会会員数	人	190	190	205
		医療機関数（歯科除く）	箇所	78	78	79
		事業費計	千円	900	900	900
		一般財源	千円	900	900	900
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	特定健康、がん検診とも受診率は目標値には達していないが、年々増加している。
------------------	---------------------------------------

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
特定健診受診率	%	29.7	30.6	32.1	値が大きいほど良い	効果が上がった
がん検診受診率	%	20.2	20.7	21.4	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

医師会に協力を得ながら各種事業を実施し、特定健診受診率及びがん検診受診率は増加しているため、特に検討事項なし。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	引き続き、当団体の活動を支援していく。

事業名	熱中症予防対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	気候変動対策課		熱中症予防対策事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	気候変動対策係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	R5	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	総合的な熱中症対策事業を展開し、熱中症の発生を抑制する。
------	------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	熱中症による救急搬送者数を減少させる	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%			75.5	76.0	76.5
		救急搬送者数	人			72	72	72

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・チラシやポスター、防災無線、SNS、広報誌等による周知啓発 ・健康教育の実施（5回 49人） ・熱中症対策アドバイザー養成講座の実施（認定者62名） ・涼み処の設置 ・熱中症予防啓発動画の制作 ・関係部署と情報共有や対策の連携等を図るため庁内会議を開催	活動指標	単位	R3	R4	R5
		涼み処設置数	箇所			32
		熱中症対策アドバイザー養成講座受講者数（延べ）	人			62
		健康教育の実施回数				5
		事業費計	千円	0	0	304
		一般財源	千円			304
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%		73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった
		救急搬送者数	人	38	72	88	値が小さいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果は変わらない		費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した

4．次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・「涼み処」と名称にした結果、体調が悪くなくても涼み処を利用したいと希望者が来庁するため、熱中症の症状がある方のみと回答し、利用を断った。 ・涼み処の利用対象者を体調不良者に限らず、暑さしのぎの目的でも利用したいとの声があった。今後は、気候変動適応法の改正に伴うクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の指定が開始されるので設置基準、運用について検討していく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ・気候変動適応法の改正により、クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の指定を行う。 ・熱中症普及団体の指定の検討を行う。
---	--

事業名	保健センターPCB廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部			予算中事業名	予 算 科 目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	健康増進課			保健センターPCB廃棄物処		款	4	新規or継続	新規事業
	係	地域医療係			理事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称		根拠法令、条例等	事 業 期 間	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり				開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市保健センターで保管しているPCB廃棄物の運搬と廃棄処理
------	--------------------------------

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保管しているPCB廃棄物の運搬と廃棄処理を行う	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		運搬	件			1		
		廃棄	件			1		

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	PCB廃棄物の運搬と廃棄処理	活動指標	単位	R3	R4	R5
		運搬	件			1
		廃棄	件			1
		事業費計	千円	0	0	197
		一般財源	千円			197
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	保管しているPCB廃棄物の処理が行われた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		運搬	件			1	値が大きいくらい良い	効果が上がった
		廃棄	件			1	値が大きいくらい良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

事業名	小学校児童フッ化物洗口事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	学校教育課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	学務係				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	健診・予防事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市立学校において、週 1 回全児童にフッ化物による洗口（うがい）の指導を行う。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	児童のむし歯予防の一環として実施することで、有病率の低減を図り、歯の健康の保持増進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		実施のべ児童数	人	105,319	85,338	130,272	130,000	130,000
		むし歯の有病率	%	48.5	42.8	41.5		

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	市立小学校及び、義務教育学校前期課程において、毎週 1 回全児童にフッ化物による洗口（うがい）の指導を行った。 4月 各学校に実施依頼 4月 人数の把握と消耗品のとりまとめ 5月 消耗品の発注納品 通年 フッ化物洗口指導 3月 実施報告書提出	活動指標	単位	R3	R4	R5
		実施校	校	16	16	16
		5/1児童数	人	5,473	5,294	5,161
		事業費計	千円	969	349	390
		一般財源	千円	727	288	375
		特定財源（国・県・他）	千円	242	61	15
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	児童の歯の健康に関する知識が深まり、むし歯の有病率を低減させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		実施のべ児童数	人	105,319	85,338	130,272	値が大きいほど良い	効果が上がった
		むし歯の有病率	%	48.5	42.8	41.5	値が小さいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		○		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				
			費用は下がった			
			費用の増減無し			
			費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 4 年度から国の「口腔保健推進事業費補助金」の対象事業となっていることから、今後も引き続き補助金を活用し、児童のむし歯有病率の低減を図る。事業の効果を共有し、未実施の小学校へ協力依頼し全校での実施を目指す。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、補助金を活用した事業を展開し、全校実施に向け協力を促していく。
---	--

事業名	みかもクリーンセンター余熱利用施設管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	環境政策課		みかもクリーンセンター余熱利		款	4	新規or継続	継続事業
	係	施設係		用施設管理事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	循環型社会形成推進基本法	事業期間	開始年度	H21	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R8	事業分類	その他内部事務事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・ごみ焼却施設の余熱を利用した温浴施設、温水プールなどからなる複合施設の維持管理・運営を行うにあたり、民間のノウハウを活用し、市の財政負担を軽減すると共に、市民サービスを向上するため、指定管理者(みかも P F I)に委託する。 ・地元町会からの要望による地域振興策として無料利用券委託事業や業務実施について確認を行うモニタリングを行う他、市が負担するリスク費を指定管理者に補償する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民が施設を利用することで、市民の健康増進と交流促進を図る。 ・地元振興策による利用促進を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設利用者計画数	人	230,281	230,281	230,281	260,000	260,000
施設利用収入見込額	千円	119,383	119,383	119,383	96,446	97,410

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・指定管理者により実施された維持管理運営事業について、契約書等の基準を達成しているかを確認するモニタリングを実施した。 ○維持管理運営モニタリング（四半期ごと年4回開催） ・地元振興策として、余熱利用施設無料利用券を地元3町会に配布し、周辺住民利用促進業務を実施した。 ○周辺住民利用促進（各町会2000枚、計6000枚配布）
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
施設利用者実績数	人	185,499	238,175	276,551
施設利用収入実績額	千円	49,656	67,110	77,048
事業費計	千円	29,933	3,273	869
一般財源	千円	29,933	3,273	869
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・施設利用者数は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い回復してきているが、コロナ化前の状態には戻っていない。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設利用者計画数	人	185,499	238,175	276,551	値が大きいほど良い	効果が上がった
施設利用収入見込額	千円	49,656	67,110	77,048	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった
効果が上がった指標数	2指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった	○	
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・供用開始後15年が経過し施設も老朽化してきたため、修繕等適切な維持管理課が必要となる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
・老朽化した設備の更新を行う。

事業名	みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	環境政策課		みかもクリーンセンター余熱利用施設指定管理事業		款	4	新規or継続	継続事業
	係	施設係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H21	実施方法	指定管理者
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R8	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・ごみ焼却施設の余熱を利用した温浴施設、温水プールなどからなる複合施設の維持管理・運営を行うにあたり、民間のノウハウを活用し、市の財政負担を軽減すると共に、市民サービスを向上するため、指定管理者(みかも P F I)に委託する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民が施設を利用することで、市民の健康増進と交流促進を図る。 ・設計、建設及び維持管理運営を包括して指定管理委託することで財政負担縮減を図る。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設利用者計画数	人	230,281	230,281	230,281	260,000	260,000
施設利用収入見込額	千円	119,383	119,383	119,383	96,446	97,410

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・余熱を利用した温浴施設、温水プール及びトレーニングルームや多目的運動場などからなる複合施設の維持管理・運営業務を、契約書等に従い指定管理者と年度協定を締結した。 ・四半期ごとに年4回維持管理運営モニタリングを実施した。 ・施設更新として、多目的運動場の人工芝の一部の張り替えを行った。 ・令和6年度から令和8年度までの第2期の指定管理者を選定した。
--------------------------	--

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
施設利用者実績数	人	185,499	238,175	276,551
施設利用収入実績額	千円	49,656	67,110	77,048
事業費計	千円	88,906	84,260	101,013
一般財源	千円	87,709	82,947	99,700
特定財源（国・県・他）	千円	1,197	1,313	1,313
(うち受益者負担)	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・施設利用者数は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い回復してきているが、コロナ化前の状態には戻っていない。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設利用者計画数	人	185,499	238,175	276,551	値が大きいほど良い	効果が上がった
施設利用収入見込額	千円	49,656	67,110	77,048	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 2指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※ 10万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・令和5年度で1期目の指定管理が終了し、令和6年度から2期目となることから、利用者の満足度をさらに向上させるためサービスの質を上げる必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	・引き続き、コロナ化前の状況に施設利用者をもたせよう、指定管理者と協力していく。 ・利用料金の収入増により剰余金が発生できるようにする。

事業名	健康増進推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	3	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	平成31年度	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	令和 5 年度	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民の健康増進を図るため、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等による、食生活及び生活習慣の改善に関する健康増進事業を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解を深め、自らの健康状態に合わせた日常生活を送り、健康の保持増進につなげることができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・健康教育：①検診受診率向上のために、医師と保健師で義務教育学校1校、生徒と教職員を対象に乳がんについてやがん検診についての講話②健康づくり教室（食事・運動）③依頼時健康教室 ・健康相談：①健康サポートステーション（年26回）②栄養相談③健康相談④体組成計測定⑤依頼時健康相談 ・訪問指導・集団健診で至急精検者に対し、訪問により受診勧奨	活動指標	単位	R3	R4	R5
		事業の実施回数	回	210	209	204
		事業の参加者数（延人数）	人	760	1,931	3,426
		事業費計	千円	655	649	1,333
		一般財源	千円	233	242	876
		特定財源（国・県・他）	千円	422	407	457
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	健康長寿推進条例制定講演会にて健康づくりの講話の開催や健康大学の開催が参加者数の増加に繋がった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

①事業の対象者は様々な年齢層の市民であることから、事業の開催日時・会場・関心の高いテーマの選択、また広報媒体や地区組織等の活用を検討する。
②佐野市の健康課題から脳血管疾患死亡が多いことから予防対策を周知していく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☒ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	R 6 年度は健康長寿推進事業に統合。

事業名	健康長寿推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	4-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	新規事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	令和 5 年度	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	健康寿命の延伸を目指し、市民が生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができるよう、①健康づくりに関する基本理念等を定めた条例に基づき、健康づくりに関する関係団体等との協働による健康づくりの施策を総合的かつ計画的に推進する。②健康増進法第17条第1項及び第19条の2に基づく健康増進事業を実施する。③さの健康 2 1 プランに基づく事業を推進する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	心身共に健康でいきいきと生活できるようにする。
-------------------------	-------------------------

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%			75.5	76.0	76.5
特定健診受診率	%			40.0	35.0	37.0
がん検診受診率	%			29.0	29.5	30.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	7月に田沼中央公民館で条例施行記念事業としてSANO健康いきいき講演会を開催し健康づくりに関する講話、シニア地域デビューに関する講話をした。 10月に協定締結事業と健康・長寿づくり協働事業情報交換会を実施し各事業所の取り組み内容や意見交換をした。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		協力企業との協定締結数	回	－	－	12
		事業の実施回数	回			204
		事業の参加者数（延人数）	人			3,426
		事業費計	千円	0	0	83
		一般財源	千円			28
		特定財源（国・県・他）	千円			55
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	R5からの事業であり、効果の判定はできないが、協定企業に健診受診のPRを協力してもらうことで、各種健（検）診受診率の向上が期待できる。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%			75.2	値が大きいくらい良い	
特定健診受診率	%			32.1	値が大きいくらい良い	
がん検診受診率	%			21.4	値が大きいくらい良い	

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10 万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	○		
	効果が下がった指標数	0指標			
	指標全体	効果は変わらない	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し	
				費用が増加した	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和 5 年度は初年度であったが、12 企業と協定を締結できた。今後は企業に依頼する活動について整理が必要。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	協力企業と情報交換会を行い、顔の見える関係づくりを行う。 協力企業に依頼する内容を検討し、明確にする。 各種健診や健康教室のPRを企業と協力して行い受診率向上や各事業の参加者の増加を目指す。

事業名	骨髄移植ドナー支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	現金等給付事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業者等に対し、助成金を交付することで骨髄等の移植の推進及びドナー登録の推進に寄与することを目的とする。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	骨髄等のドナーは、提供時の休業等による経済的負担から、移植に至らないケースが多数あると言われている。そこで、負担を軽減し提供へのハードルを下げることで、ドナー登録の普及及び骨髄提供者の増加を図り、市民の健康に資することを目的とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野市の骨髄等の提供支援数	件	1	3	1	2	3

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	骨髄移植ドナー支援事業奨励金の交付対象者へ奨励金を交付し た。 市ホームページ、広報紙に事業内容を掲載し、周知した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		佐野市の骨髄等の提供支援数(個人)	人	1	3	1
		佐野市の骨髄等の提供支援数(事業所)	件	0	2	1
		事業費計	千円	140	560	210
		一般財源	千円	70	280	105
		特定財源（国・県・他）	千円	70	280	105
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	骨髄等の移植をしたものに支援をした。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野市の骨髄等の提供支援数	件	1	3	1	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果は上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			○
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの市民が骨髄等の移植及びドナー登録を行えるよう周知を行う必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
--	------

事業名	葛生あくと保健センター空調設備改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	健康増進課		葛生あくと保健センター空調設		款	4	新規or継続	新規事業
	係	地域医療係		備改修事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等	事業 期間	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	R5	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	R5	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	葛生あくと保健センターの空調設備の改修工事に係る経費
------	----------------------------

（2）目的

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)	エントランスホールの空調設備を更新することで、快適な空間を作る	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		工事件数	件			1		

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	エントランスホールの空調設備工事	活動指標	単位	R3	R4	R5
		工事件数	件			1
		事業費計	千円	0	0	9,119
		一般財源	千円			9,119
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	エントランスホールの空調設備が更新された	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		工事件数	件			1	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
		指標全体	効果が上がった	費用	費用は下がった	
				費用の増減無し		
				費用が増加した	○	

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	食育推進事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	農政課				款	6	新規or継続	継続事業
	係	農政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	食育基本法	事業開始年度	H21	実施方法	直営	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	啓発事業	
	施策	1	心と体の健康づくりの推進						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、佐野市食育推進計画を推進する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	食育の推進	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		食育に関心がある市民の割合	%	70	72	74	76	78
		成分表示を参考に行っている市民の割合	%	60	62	64	66	68

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・食育推進会議の開催 ・食育講座の開催	活動指標	単位	R3	R4	R5
		食育推進会議	回	2	1	2
		食育講座	回	0	0	1
		事業費計	千円	30	15	25
		一般財源	千円	30	15	25
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	生涯にわたり、心身ともに健康で、生き生きと生活できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		食育に関心がある市民の割合	%	-	70	78	値が大きいほど良い	効果が上がった
		成分表示を参考に行っている市民の割合	%	-	63.0	58.0	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果は変わらない				

費用	費用は下がった			
	費用の増減無し		○	
	費用が増加した			

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	保健センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業 期間	開始年度	S58	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	保健センターの維持管理に係る経費（佐野市保健センター及び葛生あくと保健センター）
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	保健センターを快適に使用するための維持管理（修繕、工事、保守点検等）を行う。 ※清掃業務、機械警備保守、消防用設備等保守、自家用電気工作物保安管理、空調機器保守点検、除草及び植木剪定、電話交換設備保守、熱交換器保守点検、トイレ防臭機借上、複写機、定期清掃業務
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設の修繕及び工事件数（佐野）	件	2	3	1	0	1
施設の修繕及び工事件数（葛生）	件	4	4	10	5	5
各設備等の保守点検数（佐野）	件	9	9	9	4	6
各設備等の保守点検数（葛生）	件	8	8	8	9	9

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R5年度に行った主な活動内容）	佐野市保健センター及び葛生あくと保健センターの施設利用者数（乳幼児健診、集団健診など）
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
施設利用者数	人	11,299	12,428	11,677
事業費計	千円	15,645	19,796	19,925
一般財源	千円	9,006	10,868	10,659
特定財源（国・県・他）	千円	6,639	8,928	9,266
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	施設利用者に対し、安心・安全な利用を促すことができた。
------------------	-----------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設の修繕及び工事件数（佐野）	件	2	3	1	値が大きいほど良い	効果が下がった
施設の修繕及び工事件数（葛生）	件	4	4	10	値が大きいほど良い	効果が上がった
各設備等の保守点検数（佐野）	件	9	9	9	値が大きいほど良い	効果は変わらない
各設備等の保守点検数（葛生）	件	8	8	8	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数 2指標		費用は下がった	費用の増減無し	
	効果が下がった指標数 1指標				
	指標全体	効果は変わらない	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野市保健センターや葛生あくと保健センターは建設から年数がたってきており、修繕箇所などが年々増えてきている。そのため、利用者が安心・安全に使えるよう、保守点検の実施や速やかに修繕を進めていく必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

仕事の振り返りシート（令和 5 年度実施分）

作成・更新日 2024年12月10日

事業名	がん患者支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3111	名称		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	R3	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	現金等給付事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					
			根拠法令、条例等					
			がん対策基本法					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	がん治療に伴う外見の悩み、例えば脱毛に対応するための医療用ウィッグや、手術による乳房の形の変化に対応するための補整下着またはシリコンパット等の胸部補正具の購入にあたり、その費用の一部を補助し、がん患者の心理的・経済的負担の軽減を図る。 医療用ウィッグ：上限30,000円（付属品・ケア用品は対象外）、乳房補整具：上限20,000円
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	がん治療に対する理解を深め、健康の保持増進につなげることができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75.0	75.5	76.0	76.5
		がん検診受診率	%	30.0	28.5	29.0	29.5	30.0

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	がんと診断され、その治療に伴う脱毛、乳房の切除等により、医療用ウィッグまたは乳房補整具を購入した者への購入費の一部助成を行った。 医療機関にチラシを配布し、事業の周知を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		医療用ウィッグの補助件数	件	32	41	42
		乳房補正具の補助件数	件	1	10	12
		事業費計	千円	943	1,354	1,370
		一般財源	千円	620	861	873
		特定財源（国・県・他）	千円	323	493	497
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	開始年度に比べて補助件数は増えており、需要はあると考えられる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった
		がん検診受診率	%	20.2	20.7	21.4	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				
費用	費用は下がった					
	費用の増減無し	○				
	費用が増加した					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

必要な方が本事業による助成を受けられるよう、周知方法について再度確認をしていく。また、栃木県では若年がん患者を対象とする在宅ターミナルケア支援も行っており、県内8市町が実施しているため、本市においても導入について検討が必要。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 在宅ターミナルケア支援事業を実施できるよう準備を行っていく。
---	--

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年12月10日

事業名	こころの健康づくり事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	健康づくり係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	311	名称		目	3	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	H31	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度		事業分類	相談事業
	施策	1	心と体の健康づくりの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	・自殺予防対策事業として、全庁的な連携体制のもと、関係機関等との連携を図り、市民のこころの健康づくりを推進する。 ・自殺対策ネットワーク会議により、市、関係機関及び関係団体の自殺対策に関する連携を図る。 ・対面相談、人材育成、普及啓発、若年層対策を実施する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が、こころの健康に対する関心と理解を深め、自らのこころと体の健康状態に合わせた日常生活を送り、健康の保持増進につなげることができる。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	76.5	75	75.5	76	76.5
市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)		12.1	12.1	12.1	12.1	12.1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・4月よりこころの健康相談を実施(2～3回/月)。また、庁舎や市有施設に「すこやかなこころのための手引き」や自殺予防啓発カードを設置。 ・6月に自殺予防対策連絡会議、7月に自殺対策ネットワーク会議を開催。 ・12月 こころの健康づくり教室を開催。 ・1月「二十歳のつどい」参加者への啓発物品の配布。 ・2月 ゲートキーパー養成講習会として、「基礎編」及び「実践編」を開催。
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
こころの健康相談 利用者	人	91	64	98
ゲートキーパー累計者数	人	824	870	917
こころの健康づくり教室 参加者	人	11	19	51
事業費計	千円	905	900	1,036
一般財源	千円	303	274	484
特定財源(国・県・他)	千円	602	626	552
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・ゲートキーパー累計者数やこころの健康づくり教室の参加者数は順調に伸びている。また、こころの健康相談の利用者は、R3やR4と比較すると、R5では増加している。 ・市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)は、R5年では目標達成している。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	72.8	73.5	75.2	値が大きいほど良い	効果が上がった
市の自殺死亡率(年毎・10万人当たり)		20.5	13.8	10.4	値が小さいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用(R5とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果(R5とR4の指標値増減)	効果が上がった
	効果が変わらない指標数
	効果が下がった指標数
	指標全体

※10万円以上の増減により判断

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度では、こころの健康相談を28回予定していたが、予約満了となり、新規の予約が2ヶ月先になってしまう方がいたのに対し、当日になってから相談のキャンセルが相次いでしまう日が何度あった。このことから、電話の相談も可とすることで、来庁が難しくなってしまった方でも、当日のキャンセルを防ぐようにしていきたい。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明	・令和5年度は、こころの健康相談の回数を28回としていたが、予約満了となることが多かったため、令和6年度は30回実施する。また、ゲートキーパー養成講習会の内容等検討する。 ・令和7年度においても、実施状況や社会情勢をかんがみて事業の在り方を検討していく。
------	---

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）

☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討

☐ 事業費の見直し検討

☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）